

大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

富山市の コミュニティサイクルとLRT

コミュニティサイクル

日本初の「ヴェリブ」型コミュニティサイクル「シクロシティ富山」が、3月20日から富山市でスタートしました。

自転車の貸出・返却を行うポートは15ヶ所、150台の自転車が用意されています。

事前登録制で、利用者はICカードを使って24時間いつでも自由に自転車を借りることができ、どのステーションに返却してもよい仕組みとなっています。

利用料金は30分までが無料で、その後60分までが200円。それ以降は30分ごとに500円が発生する。長く使うほど料金が割高になるシステムです。

事業主体として、シクロシティ社がポートの設置・管理、ユーザー登録などのシステム管理、自転車の修繕やメンテナンス、ステーション間の自転車の台数調整等の業務を行っています。

シクロシティ社は、欧州各都市でバイクシェアリング事業を展開するジェーシードゥコー社（本社：フランス）が日本での事業展開のために設立した子会社です。



(写真) LRTの駅と隣接したポート



(写真) ポートの位置図



(写真左) 幹線道路に設置されたポート (写真右) 富山城址公園前のポート



(写真上) 新たに設置された案内地図 (裏は広告)
 (写真左) 新たに整備されたバス停

ジェーシードゥコー社と言えば世界有数の屋外広告会社で、公共空間に広告媒体を保有し、広告料収入を使って、きれいなバス停などの公共施設を設置・管理していることで有名です。

今回のコミュニティサイクルのポートも広告の掲示付きとなっていますが、同じ広告を載せる形で新しいバス停や案内地図も併せて整備されています。

自転車レーン

また、全国で指定された自転車通行環境整備モデル地区の1つとして、自転車レーンが約400m程度ですが、モデルケース的に整備されています。

一般の大人はかなりの割合で自転車レーンを走行していましたが、高校生などの若者は逆に歩道上の走行が多かったです。



(写真左) 設置された自転車レーン (写真右) 自転車レーンとコミュニティサイクルのポート

LRT

平成18年4月にLRT「ポートルム」が
通しました。赤字ローカル線のJR富山港線を
活用・再生させたものです。

ポートルムは富山駅から中心市街地とは反対
側にある富山港までを結んでおり、中心市街地
側には既存の路面電車が2路線走っています。

平成21年12月に既存の路面電車2路線をつなぎ、環
状運転が始まりました。同時に新型車両を投入し、「セン
トラム」として運行しています。

数年先には北陸新幹線の開通に合わせてJR富山駅を
高架化し、ポートルムとセントラムがつながります。

コンパクトシティの実現に向けて、様々な施策を積極的
に進めている富山市の今後の動向は注目です！



(写真) ポートルム



(写真上) 新たに開通した区間の駅 (写真下2点) セントラム

